

-あとがき-
編集後記

(撮影・編集：奥津一樹)



気が付けば夏至を通りすぎ、もう今年も折り返し地点ということに一喜一憂しています。すっかりジメっとした梅雨時期ですが今年はあまり雨が降らないのか、まだこれから先に降るのか、来月にある第2回目のおだわらグリーンマルシェが晴天のもとで開催されることを祈るばかりです。

先日、会員さんのところへ伺っていたところ「すっかり作業が板についてきたね」という言葉を掛けていただきました。取材で写真を撮ったり、お話を聞くことがメインで、日ごろ皆さまの活動へは本当に出来る範囲でしかお手伝いできていないのですが、それでも多少のお役に立てているのかなと、とても嬉しく、励みになる出来事でした。



おだわら環境志民ネットワーク

Odawara Environmental Citizen's Network

(事務局)

小田原市環境部環境政策課

電話：0465-33-1472

メール：ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp

今後の会員活動予定

イベント等の詳細・参加申し込み各種お問合せは各会員または事務局までお気軽に。

7月16日(日) おだわら環境志民ネットワーク【第2回おだわらグリーンマルシェ】

@小田原市観光交流センターにぎわい広場 12:00-16:00

8月2日(水)~3日(木) おだわら竹あかりプロジェクト【竹灯籠作りワークショップ】

@ザ・プリンス箱根芦ノ湖 10:00-16:00

8月5日(土) おだわら環境志民ネットワーク【第1回フィールドワーク】

@辻村山林 10:00-11:30 (案内：辻村百樹会長)

8月12日(土) 美しい久野里地里山協議会【野遊び探検 2023】

@舟原地区(小田原植木圃場)

各種SNS 日々更新中

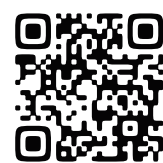
Homepage



Facebook



Instagram



youtube



LINE



おだわら環境志民ネットワーク会報誌

GreenEra



6

2023

Odawara
Environmental
Citizen's
Network

Vol.26

TEKE FREE

表紙：志村 成則さん

(個人会員・志村屋米穀店)

□ 田んぼで田植え体験

□ かながわ名産茶で手もみ茶づくりに挑戦

□ 酒匂川河口右岸でごみ拾い

□ おだわら竹あかりプロジェクト

志村 成則さん 田んぼで田植え体験

6月24日(土)

鈴廣かまぼこが行う小田原の自然を楽しみながら体験できるツアーを受け入れる形で田植え体験を開催しました。当初50人の募集予定でしたが希望者が殺到し、150人を超える応募があったそうで、とても多くの方々が小田原を訪れることになりました。参加者のほとんどが田んぼに入ることが初めてか、保護者の方々も子どもの頃に、ちょっと経験があるかどうかだったようで、トロトロになった田んぼの土に素足を踏み入れる際には、歓声だったり戸惑いだったり様々な声が飛び交いました。

この日はもち米の一種である「緑米」を植えました。参加者は一列に並んで30cm間隔で苗を植えます。志村さんが目印の紐を移動させながら、今植えた苗を踏んでしまわないように慎重に進んでいきます。苗はどうやって持てばいいのか、どのくらいの深さまで植えればいいのか質問もたくさん出ました。田植え作業に慣れて来た頃には植え付け終わってしまいましたが、全員とても満足そうに過ごされていました。子どもの中には泥に足をとられて田んぼにダイブしてしまうシーンもありましたがお互いに笑い合いながら立ち上がり「無農薬の田んぼだからいくら泥んこになっても安心だね」という声が聞こえてきました。



▲田植えを指導する志村さん



▲田植えを体験する参加者の方々

この志村さんが育てる緑米は、“世界一予約の取れないレストラン”として知られる北欧コペンハーゲンのレストラン「ノーマ(noma)」が先月期間限定で京都に出店した際にメイン料理で使用されたというご縁もあって、田植えイベントではアメリカから取材に来られたジェームズさんという方がいました。体験イベントが終わって午後は別の田んぼの田植えに向かう志村さんに引き続き同行することになり、奥津も一緒させていただきました。

田植え機のタイヤ部分など、そんなところを写真に収めてどうするのかと思うくらい記録し、この日だけで3000枚も撮ったそうで後で整理が大変だと笑っていました。ジェームズさんは「志村さんのライフワークをそのまま発信していきたい、そのために彼の目線で見える世界を写真に撮っている」と教えてくれました。畦道から見て写真を撮っているだけでは分からないこともあるんだと思い、自分も初めて田植え機に乗せてもらい、志村さんが見ている風景を目の当たりし、確かに新しい目線だと感じました。



▲アメリカから取材に来たジェームズ氏と志村さん



▲志村さんの目線で見える世界



▲会場の様子



▲手揉み茶の出来栄を確認する石崎さん親子

プラごみゼロ チームおだわら 酒匂川河口右岸でごみ拾い

6月4日(日)

季節外れの台風2号と梅雨前線の影響で大雨が降った翌日にごみ拾い活動を行いました。2週間前にも同じ場所でごみを拾われていましたが、雨の影響もあってこの日も非常に多くのごみが回収されていました。中でも特徴的だったのは貝殻が付着したペットボトルなど長らく海の中にあっただろうごみや、風などで飛来しマイクロプラスチックとなった発泡スチロールの残骸などが多かったように思います。



▲竹灯籠作りワークショップの様子



▲菖蒲畑に置かれた竹灯籠

(一社)足柄茶ラボ かながわ名産茶で手揉み茶づくりに挑戦

5月28日(日)

公益財団法人かながわ健康財団との協働で、足柄茶を学ぶ講座を開催しました。荻窪にある実習茶園を見学しながら歴史やお茶の効能などを学び、そのあと1番茶を使って手揉み茶を作る体験を行いました。50gの生葉から出来上がる茶葉は約10gなので、ギュッと揉んで水分を絞り出し、熱しては乾かし、まだかまだかと同じ作業を繰り返すこと約50分、参加者全員が満足する仕上がりになったと同時に、普段自分たちが飲んでいるお茶の素晴らしさと手間ひまのかけ具合を改めて認識されていました。



▲参加された皆さん



▲ごみ拾い活動中の様子。流木なども多い

おだわら竹あかりプロジェクト in 小田原城あじさい花菖蒲まつり

6月10日(土)・17日(土)

小田原城あじさい花菖蒲まつりでは今年も一夜限りの「AKARI NIGHT」が開催され、おだわら竹あかりプロジェクトも協力させていただきました。昨年は約200基の竹灯籠を設置しましたが今年は倍になって400基の竹灯籠があじさいと花菖蒲を見に来た方々の足元を優しい光で照らしながら癒しの空間を演出していました。日中には自分で穴を開けて竹灯籠を作るワークショップも開催し、荒廃竹林の問題などを啓発しながら多くの方に応援のお言葉を掛けていただきました。来年もまた更に数を増やせるように取り組んでいきたいと思っています。